

島田市都市計画マスタープラン 地域別タウンミーティング（伊久身地域） 議 事 要 旨

- ◆日 時：令和元年8月28日（水）19：00～21：00
- ◆場 所：伊久身農村環境改善センター1 多目的ホール
- ◆出席者：地域住民：27名
市役所職員： 戦略推進課長
建設課長補佐
農林課長 他1名
生活安心課長 他1名
教育総務課長
市民協働課長 他1名
事務局：都市政策課長 他2名

◆会議次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議題
 - (1) 都市計画マスタープランの資料説明
 - (2) 意見交換
 - (3) グループワーク
～わたしの考える“伊久身地域の未来”～
4. 連絡事項
 - ・今後の予定
5. 閉会

◆配布資料

- ・資料1 島田市都市計画マスタープラン 全体構想原案【概要版】
- ・資料2 第7章 地域別構想（伊久身地域）

■議事要旨

(1) 都市計画マスタープランの資料説明

(事務局)

(説明)

(2) 意見交換

(市民)

本日ここに参加している人は、日ごろ行政施策に親しんでいない。高校生も何人か参加している。今の説明でも内容は分かるが、もう少しざっくりばらんで良いので、全体的にどういうことをイメージしているか、島田の都市の人口や20年後の都市の肝についてコンパクトに説明してほしい。

(事務局)

一番大きな課題は、人口が減って子どもが少なくなり高齢化が進む中で、これから島田のまちをどう維持するかということである。全体構想にあるように、これからは何か大きい投資をして作って広げて成長していくような時代ではなく、市を維持しながら運営していく時代になる。みなさんの生活を維持する・守っていくというのは、成長拡大ではなく、小さくまとまって維持可能なまちづくりを目指すということ。行政だけでは難しいので、隣の集落や拠点と連携し、市民と協働で一緒にやっというのが大きな考え方である。今までははっきり書いていなかったが、今回は都市づくりの基本理念として市全体の考え方として書いている。

高度経済成長期には、住む場所を探して郊外を開発して用途地域が広がった。用途地域が広がっている中で人が減ると、ポツポツと人が住むようになり、これをスポンジ化と言うが、こういう状態が増える。集落でも同じことが起こり、点在した集落それぞれで日用の買い物する店や銀行、ガソリンスタンドといった生活する上で最低限必要な施設が欲しいということになる。最低限機能を維持するために都市計画で着目しているのは、人口密度を維持することである。拠点を絞って人が住みやすい場所を作り、集中して人が住むように施策を誘導して施設をそこに誘導していくという考え方をしている。全国的な都市計画の大きな考え方は、拠点の中に多様な機能を集約していくものである。周辺の集落も同様に、どこかに拠点を設けて、コミュニティ空間や最低限の買い物ができる場所があり、バスも来るといった生活の拠点を誘導するような施策を入れ込んでいくことが必要である。伊久身地区は大変広い地区だがあちこちに拠点を作るわけにはいかないため、施設が整っている場所や小学校がある場所を拠点として考えている。バスの乗り継ぎは、山の家を残しながら、バス以外の手段も考える必要がある。

(市民)

伊久身地区の特性を考えた場合、どういう地域の発展のイメージを市が持っているかを教えて欲しい。

(事務局)

伊久身地域でも人口は減ってきているが、まずは伊久身地域の良さや生活利便性を維持することに主眼をおいている。集落拠点としている伊久身農村環境改善センター周辺に、ある

程度の人口密度を維持することで、生活利便性のある店等を維持することができる。集落拠点
を維持することで、その周辺も維持できると考えている。公共交通は、山の家などを交通
結節点として、他の地域へも移動できるようにするというように考えている。

(事務局)

伊久身地域の特性としては、集落が 12 集落、主要な産業は農林業、人口は 36%減少し高齢
化も 15%上昇する。道路は蔵田島田線が 1 本あり、ここを生命線のようにして生活している
というように捉えている。

(市民)

農林業が中心ということについて、自分たちの感覚から考えれば、農林業で得ている収入
と、それ以外から得ている収入を比べると、農林業が中心とは思えないが、そういう感覚を
持っているのか。

(事務局)

もし違っているようなら改める。収入面だけではなく、生業にしている人がいるというこ
とで、今までも捉えてきた。

(市民)

当然、農林業をがんばっている人もいるし、その人たちが集落の中で柱の役を担っている
のは分かっている。しかし現実には相当厳しく、自然の保全という大きな役割はあっても、生
活できなければ背に腹は代えられない。厳しさがある中でがんばっているのはすごいと思う
し、農林業が自然環境の中心だとは思いますが、生活の中心というのはどうかと思う。否定す
るわけではなく、感覚的にどう考えているか。

(事務局)

そういう考え方もあると受け止めさせていただく。

(市民)

17 年前に引っ越してきたが、20 年後には道路や山の整備で精いっぱいだと思う。この意見
交換の目的は、市から提示されたものに対してそれで良いかという問いかけなのか、それと
ももっと面白いこと考えて欲しいということか。

(事務局)

「これで良いですか」という確認だけではなく、「もっと良い意見・アイディアはありませ
るか」ということも当然聞かなければいけないと考えている。このあとグループワークで意見
を出してもらうが、その意見を持ち帰ってこのマスタープランに反映させるため、今日は都
市政策課のほかにも他の部局の担当も来ています。担当課と本日の意見を踏まえ方針につ
いて協議をしていきます。すべての意見を実現することは難しいが、意見を出していただき
たい。所得を上げるようなことなどでも良いので、いろいろな意見を言っていただきたい。都
市計画マスタープランに載せることもできるかどうかも含め検討する。

(市民)

人口減少がデータ的にもネックになっているということであるが、人口減少を止めるため
の視点はないのか。例えば今住んでいる人や、生活を維持するだけの視点で考えるのではな
く、県道島田川根線等から藤枝から入ってくる人たちのための道路の環境整備をして、他
から来る人たちを増やすという視点はどうか。他地域の人に多く利用してもらえることを考
え

ることで、にぎわいを作ることも必要だと思う。ここに住んでいる人だけを考えて、人口が減少することになると寂しく感じる。いくら都市計画といっても、暗いイメージしかない。他の人たちを呼び込めるような視点が必要だと思う。

(事務局)

そうした内容は、全体計画で交流人口や関係人口を増やそうと記述している。地域の中でもそうした取り組みが芽生えれば良いと思っている。山の家でも展開できないか、と書いているつもりでいる。移住・定住の話や空き家の活用も含め、できる手立てはやっていきたいと考えている。

(市民)

あまり難しい話ではなく、女性にも多く来てもらっているので、身近なことを話していただきたい。計画に反映するのがどうということではなく、どういうことを考えているかということを知りたい。

(事務局)

都市マスタープランの概要に関わらず、まちづくりや思っていることなどざっくりと話を聞いてほしい。

対面方式では聞きにくいこともあると思うので、我々もグループを回り、グループワークで出した意見などを確認していこうと考えている。

(市民)

昔、伊久美村があったが、もしかしたらその方が良いのではないかなと思う。島田郷、伊久身郷、のような考え方の方が良いのではないかな。

(事務局)

そのような部分もあると思う。本来、都市計画マスタープランは都市計画区域内だけで作るものだが、島田市は山林が多く、縦に長い構造であり、そうした地域に住んでいる方も市民の方なので、そういうわけにはいかないと考えている。

(市民)

20年後、伊久身はどうなるのか。人口は減ることはもちろんだと思う。大平がなくなるとか。

(市民)

来訪者はいると思う。住む人はいなくなるけど、流入人口は増えるという考え方だと思う。

(市民)

極端かもしれないが、来年くらいから伊久身対策課とかを作り、20年間専従でやってもらうとかはどうだろうか。

(事務局)

それに対する回答はできません。中山間地域の振興は、それだけを取り上げて取り組む必要はあると思う。都市計画区域外のビジョンをどうするかは大切で、都市計画区域内とセットで考えないといけないと思っている。

(市民)

市長の言葉で「コンパクトシティ化」を聞いて、末端のような地域に住んでいる人は切られる、と実は思っていた。1箇所まとめてコンパクトに市政運営するという考えだと思っていた。伊久身・大長地区の構想を聞いて、スポンジ化のように人が薄くなっていくということであれば、人を集めて密度の濃い施策をやっていく方が良いと思った。伊久身地域は、もしかしたら20年後には12集落あっても1つの集落に数人しかいない可能性も十分ある。その場合、伊久身地域には各集落に公会堂がある。それを撤廃して、主要な拠点となる伊久美小学校跡地や農村環境改善センターに地域の人が集まって会合をやるようなことを、伊久身地域のコンパクトシティ化として考えることもあり得ると思った。地域を守る方法としては、そういう方法もあり得るなど考えている。

(事務局)

決して「強制的に居住誘導に移動してください」ということではなく、中心部へ行くまでもなくどこかに1つの拠点、最低限の機能を残した地域があるようにしたいと考えている。この地域にはコンビニがないが、コンビニも一定の人口密度がないと閉店してしまう。まちなかも含め、そうした人口を維持するための施策をとらざるを得ないと考えている。1集落の人数が3人や4人になったら市役所は知らないということではなく、そうした集落も含めてどこかに拠点を設けて維持していく考えでいる。そのためには行政だけではできないので、協力してほしい。

(3) グループワーク「わたしの考える“伊久身地域の未来”」

- ・地域構想の内容を踏まえ、グループごとに“地域の未来”がどうなって欲しいかを話し合い、地域のまちづくりへの期待や、地域の未来像のイメージを『未来カード』に記入した。
- ・地域別構想原案について、追加意見があれば『ご意見カード』に記入した。

《グループワークの結果（『未来カード』への記載内容）》

グループ	意見概要【わたしの考える“地域の未来”とは】
Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場の所を利用しやすくする事 ・川口～東伊久美線の道路をよくしてバスが自由に運行できるように ・蔵田島田線を大きい車でも通れるように広げてもらい、藤枝～川口までをスムーズにする ・大久保→（やまめ平）伊久美小→やまゆり→山の家の道沿いに大学や学生等のスポーツ合宿等誘致し、人がたくさん来るようにする ・道路の整備をし、伊久美川を中心としたキャンプ場などの施設、山林を生かしたアスレチック場などの施設、ハイキングコースなど住んでいる人にも外部の人にも伊久美っていい所と思ってもらえる地域になるといいなと思う ・川口ー伊久美ー藤枝まで、観光バスが通れる道路を整備する ・ハイキングコース整備 菩提山、高山、など ・道路拡幅～トンネル 切割 ・流入人口の増加 ・住んでいる人も、伊久身を訪れた人も自然を満喫でき、豊かな自然を実感できる伊久身となることを望みます <p>【グループ発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蔵田島田線は、幅員が広いところもあるが、急に狭いところもあり、観光バスが通れないところが何か所かあるため、観光バスや大きいワンボックスカーがスムーズに通れるように整備してもらって、藤枝から伊久美小、山の家、川口までをスムーズに通れるようにしてもらって、大学や小学生のスポ小などの合宿ができるように山の家などを活用してはどうか。
Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・「観光資源」としては、そこそこ明るい ・すばらしい自然と農地、林地を、体験の場として利用し、都会の人達に提供する ・地元に住む人を増やせるようプランをたて、活性化をはかる！ ・自然を活用した観光を発達させる ・自然環境を大切に地域住民が住みやすい村であってほしいです ・よそから来た人あとをたのむ！ 自然豊かなんだから <p>【グループ発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊久身には良い素材があるため、観光に絞れば明るいのではないかと ・伊久身に人が残るのが少なくなるのは仕方ないので、短期でも長期でも外から来てもらって滞在してもらえば、何とかして伊久身としての形を残していくことができるのではないかと

グループ	意見概要（『未来カード』への記載内容）
Cグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かな安心して生活できる伊久身 ・安心して年をとれる伊久身 ・小学校の跡地に子どもから大人まで遊べるアスレチックなどの施設を作り、住む人を増やすではなく遊びにくる人を増やし伊久美の良さを残す ・安全に子どもが遊べる場所がある ・外から遊びに来れる <p>【グループ発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊久美小学校跡地に子どもから大人まで遊べる川やアスレチックなどの施設を作り、遊びに来る人を増やしてはと思う。 ・伊久身にこれから住む人は減ってくるのは確実なので、だんだん高齢化になってきて、高齢者の人が働ける施設があれば、伊久身の良さを残したまま今伊久身に住んでいる人も生活できると思う。
Dグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・農業で伊久美に残る ・子どもも高齢者も生活しやすい地域 ・観光地となるよう、交通・土地の整備をし、来やすい環境を作りにぎやかな村作り ・伊久美川の河原を管理キャンプ場にする ・やまゆりを拠点に・・・(伊久美に来る人がお金を落とす様に) ・大胆な道路の整備により生活圏の確保！ ・若い世代が生活しやすい町 子どもが外で(公園・児童クラブなど)遊べる環境が欲しい ・コミュニティーバスに代わる、移動手段が欲しい 市がムリなら自治体で車を出すとか ・やまめ平、山の家に来るお客がお金を落としてくれる、カフェ、コンビニ(地域の人)、キャンプ場などをつくって相乗効果を出す <p>【グループ発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いかにして人を呼ぶかということを中心に話した。藤枝市大久保地区では、古民家を借り上げて人に入ってもらっている。 ・伊久美川を売りにした集客を考えた。永住ではなく、交流人口を増やすということ。 ・若い世代や高齢者が暮らしやすい環境整備ができれば。 ・大胆な道路整備が必要かと思う。

グループ	意見概要（『未来カード』への記載内容）
	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家を利用して人を集める ・観光地として人を集める ・その為の道路整備が必要 ・山の家周辺にバスのステーションを作って、奥まで人々が集まるようにする ・観光地化できるようにする ・買い物ができるようにする ・人が呼べる施設を作る ・人が来やすい様に交通の利便性を図る ・その地域でぐるぐる楽しめる田舎暮らし ・山の家と伊久身小を拠点に東京農大の皆様を借りブランド野菜 →小学校（園）も体験OK ・山の家にスタバ誘致 ・住民は減っても、関係人口は増える ・文化は持続していく
Eグループ	<p>【グループ発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京農大が伊久身のお祭りで最近お手伝いしてもらおうということになっているため、その方たちの力を借りて、伊久美小学校跡地や山の家で野菜を作って、販売所も作って、お互いに競うようにしてはどうか。そうすれば、小中学生や幼稚園園生も、遊べるし体験もできる。 ・まちに頼りがちであるが、山の家から伊久美小学校跡地あたりで、行ったり来たりできるぐるぐる回って楽しめることができる田舎が良いと思う。 ・道中でアウトドアのことが簡単にできたり、空家の貸し借りもあるが、そういうことができれば長く住みたいと思う。 ・やまゆりにスターバックスやコメダ珈琲を誘致できればと思う。 ・やまゆりも大変であるが、足湯を設けてはどうか。 ・やまゆりあたりに買い物できる場所が欲しい。そうすれば、老若男女が買い物すれば、子どもも増えると思う。地域の中で集まって声を掛け合って家に戻って話をすれば、子どもが増えるということが良いと思う。 ・農転は難しいと思うので、緩和措置があると良いと思う。

■ 『ご意見カード』 への記載内容

まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・伊久美を切り捨てないでください
観光・集客	<ul style="list-style-type: none"> ・道に花畑を作り集客 ・清流伊久美川の更なる活用（漁協にもう少し努力してもらったらどうか?）
交通環境	<ul style="list-style-type: none"> ・乗合タクシーを作り、子ども・高齢者の利便性を上げる必要がある。（2年後とは言わず、早期に実現して頂きたい!!）→将来の自分達にもつながる ・蔵田島田線をすれ違いやすい広い道、行き来しやすい道にしたい ・コミバスの時間をもう少し考えてください ・コミバスの復活 ・道路整備をして住みやすくして下さい ・バス等移動手段を考えてほしいです ・交通手段について考えて欲しいです ・道路整備をして欲しいです ・交通の利便性を向上する
施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・伊久美川へ遊びに来る人たちのマナーが悪いので、駐車場を整備して欲しい ・高齢者の方が、週末ゆったり過ごせる環境の整備が必要では ・ツーリングの方たちが活用できる施設があってもよいのでは（自転車） ・20年後を見越して桜宅さん植えてください
要望	<ul style="list-style-type: none"> ・山の家 ⇄ 伊久美小跡地利用 <div style="text-align: center;"> <p>↳ 体育館の活用 ←</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・菩提山など景観豊かな山にハイキングコースを整備し、川根や高根山（藤枝）などとネットワークし、健康づくりなどを目指した活動の推進の必要性を感じます。
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすい環境を作って欲しい ・公園等子どもたちが遊べる場所を作ってほしいです
移住・定住	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家に移住したい人に優遇される何か欲しい（税金とか建築補助とか） ・IターンUターンの対策 藤枝市のように山間地へ呼べないか（移住） ・伊久身地区に人を呼んでアピールして、ここに住みたいという人を増やしていきたい ・川根にあるレイクサイドのような分譲地をつくり、新規の住民を増やす（やまゆり周りかどうか） ・若い世代の人に地域に残ってもらえるようにするために、山間地域には何が必要でどうしていったらいいのか地域の人と意見交換しながら少力で人口減少に歯止めをかけてほしいと思う ・空き家へ移住者を探すような取り組みも必要だと思う
農地	<ul style="list-style-type: none"> ・農転の緩和措置が必要
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を出してその何%位が実際に実現できるのでしょうか？ ・トコチャンネル（この地域だけ入っている?）→田舎を大事にしている→放映 ・東京農大さん力をお借りすることは重要で有効だと思います